

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	芸術概論	新川 貴詩	1単位 22.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>本講義では、現代美術を読み解く力を養うことを目的とする。また、日本語読解力の向上も目標とするため、現代美術に関する論文や記事など各種の文献講読を中心に講義を進めていく。</p>			
【講義概要】			
<p>20世紀末から今世紀にかけての現代美術を中心に考察する。個々の美術作品やアーティストたちに関する解説のみならず、国内外の美術動向やシーンの変遷、美術館や美術教育など文化環境、国や自治体の文化政策など多角的な視点で同時代の美術について検証する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	研究計画書とはどんなものかを知る		
2	研究課題を決める		
3	研究課題を決める 発表・コメント・添削		
4	骨組みになる文章を書く 研究目的を書く		
5	骨組みになる文章を書く 研究目的を書く 発表・コメント・添削		
6	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景の内容と構成を考える		
7	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景の内容と構成を考える 発表・コメント・添削		
8	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景を書く		
9	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景を書く 発表・コメント・添削		
10	骨組みになる文章を書く 研究意義を書く		
11	骨組みになる文章を書く 研究意義を書く 発表・コメント・添削		
12	骨組みになる文章に先行研究を引用する		
13	研究方法を書く		
14	研究方法を書く 発表・コメント・添削		
15	研究計画書の発表・コメント・添削		
【成績評価方法】			
<p>試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 1967年生まれ。早稲田大学大学院情報通信専攻修了。美術ジャーナリストとして新聞や雑誌に文章を発表する傍ら、展覧会企画にも関わる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	絵画概論	早見 堯	1単位 16.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
絵画は支持体や絵具などの物質でできている。物質に心はない。その物質が私たちの心を揺れ動かす。なぜ？心のない物質が感情表現できるのはどうしてなのか。絵画を見ながらこうした謎を考える糸口をつかみたい。			
【講義概要】			
日本その他のモダン・アートや現代美術の作品を画像で映しながら、それぞれの作品がどう見えるのかを理解し、作品がどういうふうになり立っているのかを考えます。そして作品からえられる感覚的なテイスト(味わい)を吟味してみましよう。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション；作品を見て「わかる」＝連想する、自分の言葉に置き換えて理解		
2	作品を見て「感動する」；連想が拒絶されて作品のあるがままの姿を受け入れる		
3	絵画の成り立ち方-1；形の出現と消滅		
4	絵画の成り立ち方-2；正面性、平面性、絵画と立体の違い		
5	絵画の成り立ち方-3；色彩表現をめぐる		
6	色と構成の力；色彩による表現力、構図による表現力		
7	絵画の表現性-1；同次元結合と異次元結合		
8	絵画の表現性-2；同次元結合と異次元結合		
9	美術館のコレクションの作品から・展覧会の作品から-1；絵画に問題はあるのか		
10	美術館のコレクションの作品から-2展覧会の作品から-2；何が絵画の問題なのか		
11	サステナビリティとしての絵画；イメージとオブジェ・平面性と平面体その他の絵画のキーワードを、作品を見ながら検討		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 早稲田大学第一文学部卒業。1970年代から現代美術の批評を通して「見る」とはどういう経験なのか、「表す」とは人にとって何なのかを具体的な「作品」に即して考えている。著書は『増補新装カラー版20世紀の美術』（共著）その他。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	絵画講座	宮田 徹也	1単位 16.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>芸術を通じて、人間を知る。己と他者を区別して考え、他者と自己の気持ちを理解し、他者の立場になって自己を考える。人間を知るためには、人文科学、自然科学、科学に定義されていないものも学ぶ必要がある。芸術が、人間を取り巻く事物と事象のどこに位置するのかわ確認しなければならない。それを、制作に繋げる。</p>			
【講義概要】			
<p>様々な文献を読んで、考え、意見を交換する。芸術、社会学、経済学、経営学、物理学、宇宙論、量子力学、脳科学、動物行動学、先史学等である。意思が通じるコミュニケーションは、対面でもオンラインでも可能だ。レポートとは課題ではなく、自主的な筈だ。予習、学習、復習は、一生、続いていく。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション。		
2	ハンナ・アーレントの思想と芸術。		
3	佐伯啓思の思想と芸術。		
4	カルロ・ロヴェッリの思想と芸術。		
5	語りかけることと芸術（上）。		
6	語り掛けることと芸術（下）。		
7	ネアンデルタール人とホモサピエンス。		
8	暗黒舞踏という芸術。		
9	楠木建『ストーリーとしての競争戦略』と芸術。		
10	GAFAと5Gとこれからの芸術。		
11	まとめ。		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1970年横浜生まれ。日本近代美術思想史研究。岡倉覚三、宮川重雄、針生一郎を経て敗戦後日本前衛美術に到達。ダンス、舞踏、音楽、デザイン、映像、文学、哲学、批評、研究、思想を交錯しながら文化の【現在】を探る。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	版画概論	天野純治	1単位 16.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
この授業では現代版画とは何かを考えることを目標とします。現代版画や現代美術について多くの作品を鑑賞し、様々な作品が持つ魅力やコンセプトを知って行きます。それら作品の変遷、現代美術史に理解を深めることから個々の制作の可能性を拓けることを目標とします。			
【講義概要】			
現代美術作品、現代版画作品の鑑賞。ポップアート以降、現在に至るまでの様々な作品の鑑賞を通してその作品の魅力とコンセプトの研究を行い、現代版表現を考える。自身の作品をより理解し、制作の可能性を拓けることを目的に、個々の作品のプレゼンテーションを行う。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	授業説明(版表現について)作品鑑賞		
2	作品鑑賞		
3	作品鑑賞		
4	作品鑑賞		
5	作品プレゼンテーション		
6	作品鑑賞		
7	作品鑑賞		
8	作品鑑賞		
9	作品鑑賞		
10	作品鑑賞		
11	作品プレゼンテーション		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1949年鳥取県生まれ。多摩美術大学大学院修了。第45回版画展版画協会賞、毎日現代日本美術展東京都現代美術館賞、World Print Competition最高賞。山口源大賞。元多摩美術大学客員教授。日本版画協会会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	版画講座	今井圭介	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>版画の歴史や世界、様々な技法と表現との関わりなどを学んで版画をより深く理解し、制作等に活かすことができる素地を身につける。</p>			
【講義概要】			
<p>日本の伝統木版画の浮世絵はよく知られた版画ですが、日頃使っている紙幣の肖像画が見事な銅版画であるという事はあまり意識されていないでしょう。この講義ではこうした実は身近に存在する版画にも目を向けながら資料や画像、実物を交えて版画について学びます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	版画よもやま話（版画の世界、用語、材料、紙等）		
2	版画の技法（木版画・銅版画）		
3	版画の技法（石版画・スクリーンプリント）		
4	浮世絵版画のはじまり		
5	浮世絵版画の世界と制作システム		
6	日本で初めて腐蝕銅版画を制作した人物は		
7	好奇心を満たせ！横浜絵から開化絵まで		
8	最後の浮世絵師・小林清親とは		
9	日本の近代版画は「版画」ではなく「創作版画」		
10	版画誌『月映』とは		
11	飛躍する現代版画と東京国際版画ビエンナーレ		
12	時代の寵児と呼ばれた版画家・池田満寿夫		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p><u>1959年新潟県生まれ。東京藝術大学卒業。町田市立国際版画美術館学芸員を経て町田市立博物館副館長（2012-2020年）。版画家・吉田穂高、小野忠重、博物画家・小林重三などの展覧会を企画・実施。</u></p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語(アート研究)	蔣 燕萍	4単位 90時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>①日本語能力試験N1対策：N1の試験に合格できる力をつける。</p> <p>②語彙力の向上</p>			
【講義概要】			
<ul style="list-style-type: none"> ・言語知識、読解、聴解の実戦練習。 ・模擬試験。 			
回	授業計画及び学習の内容		
1	模擬試験	19	講義
2	講義	20	講義
3	講義	21	講義
4	講義	22	講義
5	講義	23	講義
6	講義	24	講義
7	講義	25	講義
8	講義	26	講義
9	講義	27	講義
10	講義	28	講義
11	講義	29	講義
12	講義	30	講義
13	講義	31	模擬試験
14	模擬試験	32	講義
15	講義	33	講義
16	講義	33	講義
17	講義	34	講義
18	講義	35	試験
19	講義		
【成績評価方法】			
<p>試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部 (1年制)	2022年度	留学生・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語2(アート研究)	メロス言語学院講師	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
目上に対する日本語表現とカジュアルな日本語表現の向上を目標として挙げます。			
【講義概要】			
前半90分、後半20分=映像教材を見て、語彙の聞き取り+ディスカッション。 後半70分= (1)会話表現+ロールプレイ(15分) (2)1分間スピーチ(15分) (3)Show & Tell(40分)			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	試験		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100~95：A+ 94~80：A 79~70：B 69~60：C) 不合格(59~0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	アート研究コース ・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	総合研究(アート研究)	専任教員	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
前期本科2、3年のカリキュラム履修もしくは自主研究。			
【講義概要】			
前期本科2、3年のカリキュラム履修もしくは自主研究。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	プレゼンテーション、合同講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
<p>山本 哲次：1962年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院V.C.D専攻修了。花王株式会社を経て、1993年山本デザイン室を設立。花王、りそな銀行をはじめとした広告、パッケージ、クラレ、東京交響楽団、NewYorkerなどのCI/VIのデザインに携わる。日本雑誌広告賞、グッドデザイン賞、デザインフォーラム、世界ポスタートリエンナーレトヤマ他、受賞多数。JAGDA総務財務委員・東京TDC会員・日本デザイン団体協議会（D-8）JDM設立研究委員・東京都中央区サッカー協会理事。</p> <p>工藤 礼二郎：1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリーエアンドウ等、多数）その他グループ展多数、無所属。</p> <p>鈴木 叶志哉：1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）、日本版画協会展（准会員佳作）、飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）、SUVREMENA JAPANSKA GRAFIKA、国際木版画会議-木版字めき、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、(社)日本版画協会会員、版画学会会員。</p> <p>岡山 拓史：1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FUTURE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー／アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	アート研究コース・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	修了制作	専任教員、飯田 淳	1.6単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
修了作品の制作。ポートフォリオの完成。			
【講義概要】			
修了作品の制作。ポートフォリオの完成。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	プレゼンテーション、合同講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
山本 哲次：1962年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院V.C.D専攻修了。花王株式会社を経て、1993年山本デザイン室を設立。花王、りそな銀行をはじめとした広告、パッケージ、クラレ、東京交響楽団、NewYorkerなどのCMのデザインに携わる。日本雑誌広告賞、グッドデザイン賞、デザインフォーラム、世界ポスタートリエンナーレトヤマ他、受賞多数。JAGDA総務財務委員・東京TDC会員・日本デザイン団体協議会（D-R）JDM設立研究委員・東京都中央区サッカー協会理事。			
工藤 礼二部：1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリーエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。			
鈴木 叶志哉：1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。日本版画協会展（准会員佳作）。飛騨高山現代版画展ビエンナーレ（大賞）、SUVREMENA JAPANSKA GRAFIKA、国際版画協会蔵本版ぞめき、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、（社）日本版画協会会員、版画学会会員。			
岡山 拓中：1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「EUTONE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー／アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員			
飯田 淳：1955年東京都生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。『HERMÈS Collection Homme Automne-Hiver 2008 INVITATION』のイラストレーション、『THE CONRAN SHOP』07と08のオリジナルイラストダイアリー、『an・an』『クロワッサン』『クーンネル』など、多数の女性誌イラストレーション。雑誌『GINZA』のロゴデザイン。原宿のハンカチーフショップ『バルトウズ』をプロデュース。TIS会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	芸術概論(デザインビジネス)	新川 貴詩	1単位 22.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>本講義では、現代美術を読み解く力を養うことを目的とする。また、日本語読解力の向上も目標とするため、現代美術に関する論文や記事など各種の文献講読を中心に講義を進めていく。</p>			
【講義概要】			
<p>20世紀末から今世紀にかけての現代美術を中心に考察する。個々の美術作品やアーティストたちに関する解説のみならず、国内外の美術動向やシーンの変遷、美術館や美術教育など文化環境、国や自治体の文化政策など多角的な視点で同時代の美術について検証する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	研究計画書とはどんなものかを知る		
2	研究課題を決める		
3	研究課題を決める 発表・コメント・添削		
4	骨組みになる文章を書く 研究目的を書く		
5	骨組みになる文章を書く 研究目的を書く 発表・コメント・添削		
6	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景の内容と構成を考える		
7	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景の内容と構成を考える 発表・コメント・添削		
8	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景を書く		
9	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景を書く 発表・コメント・添削		
10	骨組みになる文章を書く 研究意義を書く		
11	骨組みになる文章を書く 研究意義を書く 発表・コメント・添削		
12	骨組みになる文章に先行研究を引用する		
13	研究方法を書く		
14	研究方法を書く 発表・コメント・添削		
15	研究計画書の発表・コメント・添削		
【成績評価方法】			
<p>試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。</p> <p>1967年生まれ。早稲田大学大学院情報通信専攻修了。美術ジャーナリストとして新聞や雑誌に文章を発表する傍ら、展覧会企画にも関わる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	絵画概論(デザインビジネス)	早見 堯	1単位 16.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
絵画は支持体や絵具などの物質でできている。物質に心はない。その物質が私たちの心を揺れ動かす。なぜ？心のない物質が感情表現できるのはどうしてなのか。絵画を見ながらこうした謎を考える糸口をつかみたい。			
【講義概要】			
日本その他のモダン・アートや現代美術の作品を画像で映しながら、それぞれの作品がどう見えるのかを理解し、作品がどういうふうになり立っているのかを考えます。そして作品からえられる感覚的なテイスト(味わい)を吟味してみましよう。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション；作品を見て「わかる」＝連想する、自分の言葉に置き換えて理解		
2	作品を見て「感動する」；連想が拒絶されて作品のあるがままの姿を受け入れる		
3	絵画の成り立ち方-1；形の出現と消滅		
4	絵画の成り立ち方-2；正面性、平面性、絵画と立体の違い		
5	絵画の成り立ち方-3；色彩表現をめぐる		
6	色と構成の力；色彩による表現力、構図による表現力		
7	絵画の表現性-1；同次元結合と異次元結合		
8	絵画の表現性-2；同次元結合と異次元結合		
9	美術館のコレクションの作品から・展覧会の作品から-1；絵画に問題はあるのか		
10	美術館のコレクションの作品から-2展覧会の作品から-2；何が絵画の問題なのか		
11	サステナビリティとしての絵画；イメージとオブジェ・平面性と平面体その他の絵画のキーワードを、作品を見ながら検討		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 早稲田大学第一文学部卒業。1970年代から現代美術の批評を通して「見る」とはどういう経験なのか、「表す」とは人にとって何なのかを具体的な「作品」に即して考えている。著書は『増補新装カラー版20世紀の美術』（共著）その他。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	絵画講座(デザインビジネス)	宮田 徹也	1単位 16.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>芸術を通じて、人間を知る。己と他者を区別して考え、他者と自己の気持ちを理解し、他者の立場になって自己を考える。人間を知るためには、人文科学、自然科学、科学に定義されていないものも学ぶ必要がある。芸術が、人間を取り巻く事物と事象のどこに位置するのかわ確認しなければならない。それを、制作に繋げる。</p>			
【講義概要】			
<p>様々な文献を読んで、考え、意見を交換する。芸術、社会学、経済学、経営学、物理学、宇宙論、量子力学、脳科学、動物行動学、先史学等である。意思が通じるコミュニケーションは、対面でもオンラインでも可能だ。レポートとは課題ではなく、自主的な筈だ。予習、学習、復習は、一生、続いていく。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション。		
2	ハンナ・アーレントの思想と芸術。		
3	佐伯啓思の思想と芸術。		
4	カルロ・ロヴェッリの思想と芸術。		
5	語りかけることと芸術（上）。		
6	語り掛けることと芸術（下）。		
7	ネアンデルタール人とホモサピエンス。		
8	暗黒舞踏という芸術。		
9	楠木建『ストーリーとしての競争戦略』と芸術。		
10	GAFAと5Gとこれからの芸術。		
11	まとめ。		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1970年横浜生まれ。日本近代美術思想史研究。岡倉覚三、宮川重雄、針生一郎を経て敗戦後日本前衛美術に到達。ダンス、舞踏、音楽、デザイン、映像、文学、哲学、批評、研究、思想を交錯しながら文化の【現在】を探る。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	版画概論(デザインビジネス)	天野純治	1単位 16.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
この授業では現代版画とは何かを考えることを目標とします。現代版画や現代美術について多くの作品を鑑賞し、様々な作品が持つ魅力やコンセプトを知って行きます。それら作品の変遷、現代美術史に理解を深めることから個々の制作の可能性を拓けることを目標とします。			
【講義概要】			
現代美術作品、現代版画作品の鑑賞。ポップアート以降、現在に至るまでの様々な作品の鑑賞を通してその作品の魅力とコンセプトの研究を行い、現代版表現を考える。自身の作品をより理解し、制作の可能性を拓けることを目的に、個々の作品のプレゼンテーションを行う。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	授業説明(版表現について)作品鑑賞		
2	作品鑑賞		
3	作品鑑賞		
4	作品鑑賞		
5	作品プレゼンテーション		
6	作品鑑賞		
7	作品鑑賞		
8	作品鑑賞		
9	作品鑑賞		
10	作品鑑賞		
11	作品プレゼンテーション		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1949年鳥取県生まれ。多摩美術大学大学院修了。第45回版画展版画協会賞、毎日現代日本美術展東京都現代美術館賞、World Print Competition最高賞。山口源大賞。元多摩美術大学客員教授。日本版画協会会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	版画講座(デザインビジネス)	今井圭介	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>版画の歴史や世界、様々な技法と表現との関わりなどを学んで版画をより深く理解し、制作等に活かすことができる素地を身につける。</p>			
【講義概要】			
<p>日本の伝統木版の浮世絵はよく知られた版画ですが、日頃使っている紙幣の肖像画が見事な銅版画であるという事はあまり意識されていないでしょう。この講義ではこうした実は身近に存在する版画にも目を向けながら資料や画像、実物を交えて版画について学びます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	版画よもやま話（版画の世界、用語、材料、紙等）		
2	版画の技法（木版画・銅版画）		
3	版画の技法（石版画・スクリーンプリント）		
4	浮世絵版画のはじまり		
5	浮世絵版画の世界と制作システム		
6	日本で初めて腐蝕銅版画を制作した人物は		
7	好奇心を満たせ！横浜絵から開化絵まで		
8	最後の浮世絵師・小林清親とは		
9	日本の近代版画は「版画」ではなく「創作版画」		
10	版画誌『月映』とは		
11	飛躍する現代版画と東京国際版画ビエンナーレ		
12	時代の寵児と呼ばれた版画家・池田満寿夫		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p><u>1959年新潟県生まれ。東京藝術大学卒業。町田市立国際版画美術館学芸員を経て町田市立博物館副館長（2012-2020年）。版画家・吉田穂高、小野忠重、博物画家・小林重三などの展覧会を企画・実施。</u></p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語(デザインビジネス)	蔣 燕萍	4単位 90時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>①日本語能力試験N1対策：N1の試験に合格できる力をつける。</p> <p>②語彙力の向上</p>			
【講義概要】			
<ul style="list-style-type: none"> ・言語知識、読解、聴解の実戦練習。 ・模擬試験。 			
回	授業計画及び学習の内容		
1	模擬試験	19	講義
2	講義	20	講義
3	講義	21	講義
4	講義	22	講義
5	講義	23	講義
6	講義	24	講義
7	講義	25	講義
8	講義	26	講義
9	講義	27	講義
10	講義	28	講義
11	講義	29	講義
12	講義	30	講義
13	講義	31	模擬試験
14	模擬試験	32	講義
15	講義	33	講義
16	講義	33	講義
17	講義	34	講義
18	講義	35	試験
19	講義		
【成績評価方法】			
<p>試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部 (1年制)	2022年度	留学生・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語2(デザインビジネス)	メロス言語学院講師	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
目上に対する日本語表現とカジュアルな日本語表現の向上を目標として挙げます。			
【講義概要】			
前半90分、後半20分=映像教材を見て、語彙の聞き取り+ディスカッション。 後半70分= (1)会話表現+ロールプレイ(15分) (2)1分間スピーチ(15分) (3)Show & Tell(40分)			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	試験		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100~95：A+ 94~80：A 79~70：B 69~60：C) 不合格(59~0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	デザインビジネス コース・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	ポートフォリオ講座	上野 仁志	1単位 12時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>ポートフォリオは、記録集ではない。「何ができるか」「何をしたいのか」を伝えるもの。ポートフォリオの制作を通じて、自己作品の効果的な提示方法を習得する。また、「作品を見返すこと」、「他者のポートフォリオを見ること」、「自らの言葉で作品を説明すること」を通じ、自己作品を俯瞰で捉え、作品制作のあり方を探る。</p>			
【講義概要】			
<p>初日に「ポートフォリオを作ろう」講義を行います。個々に対応した、ポートフォリオ作成をアドバイスします。最終日に、作成したポートフォリオの説明（プレゼンテーション）を実施。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ポートフォリオに関する説明会、制作する上での注意点など。学生のポートフォリオのチェック。		
2	ポートフォリオのチェック、アドバイス		
3	ポートフォリオのチェック、アドバイス		
4	ポートフォリオの説明(プレゼンテーション)		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。</p> <p>1960生まれ。1980年立教大学経済学部経営学科中退。1984年東京芸術大学美術学部デザイン科卒業。1986年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。株式会社博報堂入社。デザイナー、アートディレクターを経てマネジメントディレクターとしてクリエイターの人材発掘と育成を担う。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	デザインビジネス コース・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	総合研究(デザインビジネス)	専任教員	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
前期本科2、3年のカリキュラム履修もしくは自主研究。			
【講義概要】			
前期本科2、3年のカリキュラム履修もしくは自主研究。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	プレゼンテーション、合同講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
<p>山本 哲次：1962年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院V.C.D専攻修了。花王株式会社を経て、1993年山本デザイン室を設立。花王、りそな銀行をはじめとした広告、パッケージ、クラレ、東京交響楽団、NewYorkerなどのCI/VIのデザインに携わる。日本雑誌広告賞、グッドデザイン賞、デザインフォーラム、世界ポスタートリエンナーレトヤマ他、受賞多数。JAGDA総務財務委員・東京TDC会員・日本デザイン団体協議会（D-8）JDM設立研究委員・東京都中央区サッカー協会理事。</p> <p>工藤 礼二郎：1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリーエアンドウ等、多数）その他グループ展多数、無所属。</p> <p>鈴木 叶志哉：1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）、日本版画協会展（准会員佳作）、飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）、SUVREMENA JAPANSKA GRAFIKA、国際木版画会議-本版字めき、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、(社)日本版画協会会員、版画学会会員。</p> <p>岡山 拓史：1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FUTURE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー／アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	デザインビジネス コース・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	研究テーマ制作	専任教員、飯田 淳	1.6単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
オーダーメイドカリキュラムシステムによるそれぞれ専攻分野による後期授業の履修もしくは「研究テーマ制作」の習得。ポートフォリオ(就職試験用)の完成。最終的に日本での業界就職を目指す。			
【講義概要】			
オーダーメイドカリキュラムシステムによるそれぞれ専攻分野による後期授業の履修もしくは「研究テーマ制作」の習得。ポートフォリオ(就職試験用)の完成。最終的に日本での業界就職を目指す。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	プレゼンテーション、合同講習会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
<p>山本 哲次：1962年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院V.C.D専攻修了。花王株式会社を経て、1993年山本デザイン室を設立。花王、りそな銀行をはじめとした広告、パッケージ、クラレ、東京交響楽団、NewYorkerなどのCI/VIのデザインに携わる。日本雑誌広告賞、グッドデザイン賞、デザインフォーラム、世界ポスタートリエンナーレトヤマ他、受賞多数。JAGDA総務財務委員・東京TDC会員・日本デザイン団体協議会(D-8)JDM設立研究委員・東京都中央区サッカー協会理事。</p> <p>工藤 礼二：1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリーエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。</p> <p>鈴木 吐志哉：1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）、飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）他、(社)日本版画協会会員、版画学会会員。</p> <p>岡山 拓史：1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FUTONE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー／アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員</p> <p>飯田 淳：1955年東京都生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。『HERMÈS Collection Homme Automne-Hiver 2008 INVITATION』のイラストレーション、『THE CONRAN SHOP』07と08のオリジナルイラストダイアリー、『an・an』『クワッサン』『クーネル』など、多数の女性誌イラストレーション。雑誌『GINZA』のロゴデザイン。原宿のハンカチーフショップ『バルトウーズ』をプロデュース。TIS会員。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 屋間部（1年制）	2022年度	デザインビジネスコース・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	就活ポートフォリオ/インターンシップ	上野仁志、山本哲次	4単位 87時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>仕事に対する意識を高め、就職活動を知り、将来計画のきっかけをつくることを目標とします。</p> <p>インターンシップを経験することにより、専門的知識についての実務能力を高めるとともに、学習意欲に対する刺激を得られ、高い就業意識を身につけることができます。さらに、将来の進路選択において自らの適性や能力について実践的に考える機会になります。クリエイティブ業界の最新の情報を得られるとともに、会社が求める人材に対するニーズが把握できる事も大きなメリットです。</p>			
【講義概要】			
<p>自分のポートフォリオを制作し、プレゼンテーションを行ないます。また、就職についての講義を行ないます。就業体験（インターンシップ）をし、実習レポートをまとめて提出。（希望選択制）</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	1回目（講義：ポートフォリオについて）	18	ポートフォリオチェック
2	ポートフォリオチェック	19	制作
3	講義（面接・プレゼン）	20	個別アドバイス
4	制作	21	制作
5	ポートフォリオチェック	22	ポートフォリオチェック
6	制作	23	制作
7	ポートフォリオチェック	24	個別アドバイス
8	制作	25	制作
9	制作	26	ポートフォリオチェック
10	2回目（講義：クリエイティブの就職について）	27	制作
11	制作	28	制作
12	ポートフォリオチェック	29	4回目（講義：クリエイティブの就職について）
13	制作		
14	制作		
15	3回目（講義：クリエイティブの就職について）		
16	制作		
17	制作		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義及び実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p><u>山本 哲次：1962年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院V.C.D専攻修了。花王株式会社を経て、1993年山本デザイン室を設立。花王、りそな銀行をはじめとした広告、パッケージ、クラレ、東京交響楽団、NewYorkerなどのCI/VIのデザインに携わる。日本雑誌広告賞、グッドデザイン賞、デザインフォーラム、世界ポスタートリエンナーレトヤマ他、受賞多数。JAGDA総務財務委員・東京TDC会員・日本デザイン団体協議会（D-8）JDM設立研究委員・東京都中央区サッカー協会理事。</u></p> <p><u>上野 仁志：1960年生まれ。1980年立教大学経済学部経営学科中退。1984年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。1986年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。株式会社博報堂入社。デザイナー、アートディレクター、を経てマネジメントディレクターとしてクリエイターの人材発掘と育成を担う。</u></p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	芸術概論	新川 貴詩	1単位 22.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>本講義では、現代美術を読み解く力を養うことを目的とする。また、日本語読解力の向上も目標とするため、現代美術に関する論文や記事など各種の文献講読を中心に講義を進めていく。</p>			
【講義概要】			
<p>20世紀末から今世紀にかけての現代美術を中心に考察する。個々の美術作品やアーティストたちに関する解説のみならず、国内外の美術動向やシーンの変遷、美術館や美術教育など文化環境、国や自治体の文化政策など多角的な視点で同時代の美術について検証する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	研究計画書とはどんなものかを知る		
2	研究課題を決める		
3	研究課題を決める 発表・コメント・添削		
4	骨組みになる文章を書く 研究目的を書く		
5	骨組みになる文章を書く 研究目的を書く 発表・コメント・添削		
6	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景の内容と構成を考える		
7	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景の内容と構成を考える 発表・コメント・添削		
8	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景を書く		
9	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景を書く 発表・コメント・添削		
10	骨組みになる文章を書く 研究意義を書く		
11	骨組みになる文章を書く 研究意義を書く 発表・コメント・添削		
12	骨組みになる文章に先行研究を引用する		
13	研究方法を書く		
14	研究方法を書く 発表・コメント・添削		
15	研究計画書の発表・コメント・添削		
【成績評価方法】			
<p>試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 1967年生まれ。早稲田大学大学院情報通信専攻修了。美術ジャーナリストとして新聞や雑誌に文章を発表する傍ら、展覧会企画にも関わる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	絵画概論	早見 堯	1単位 16.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
絵画は支持体や絵具などの物質でできている。物質に心はない。その物質が私たちの心を揺れ動かす。なぜ？心のない物質が感情表現できるのはどうしてなのか。絵画を見ながらこうした謎を考える糸口をつかみたい。			
【講義概要】			
日本その他のモダン・アートや現代美術の作品を画像で映しながら、それぞれの作品がどう見えるのかを理解し、作品がどういうふうになり立っているのかを考えます。そして作品からえられる感覚的なテイスト(味わい)を吟味してみましよう。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション；作品を見て「わかる」＝連想する、自分の言葉に置き換えて理解		
2	作品を見て「感動する」；連想が拒絶されて作品のあるがままの姿を受け入れる		
3	絵画の成り立ち方-1；形の出現と消滅		
4	絵画の成り立ち方-2；正面性、平面性、絵画と立体の違い		
5	絵画の成り立ち方-3；色彩表現をめぐる		
6	色と構成の力；色彩による表現力、構図による表現力		
7	絵画の表現性-1；同次元結合と異次元結合		
8	絵画の表現性-2；同次元結合と異次元結合		
9	美術館のコレクションの作品から・展覧会の作品から-1；絵画に問題はあるのか		
10	美術館のコレクションの作品から-2展覧会の作品から-2；何が絵画の問題なのか		
11	サステナビリティとしての絵画；イメージとオブジェ・平面性と平面体その他の絵画のキーワードを、作品を見ながら検討		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 早稲田大学第一文学部卒業。1970年代から現代美術の批評を通して「見る」とはどういう経験なのか、「表す」とは人にとって何なのかを具体的な「作品」に即して考えている。著書は『増補新装カラー版20世紀の美術』（共著）その他。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	絵画講座	宮田 徹也	1単位 16.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>芸術を通じて、人間を知る。己と他者を区別して考え、他者と自己の気持ちを理解し、他者の立場になって自己を考える。人間を知るためには、人文科学、自然科学、科学に定義されていないものも学ぶ必要がある。芸術が、人間を取り巻く事物と事象のどこに位置するのかを確認しなければならない。それを、制作に繋げる。</p>			
【講義概要】			
<p>様々な文献を読んで、考え、意見を交換する。芸術、社会学、経済学、経営学、物理学、宇宙論、量子力学、脳科学、動物行動学、先史学等である。意思が通じるコミュニケーションは、対面でもオンラインでも可能だ。レポートとは課題ではなく、自主的な筈だ。予習、学習、復習は、一生、続いていく。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション。		
2	ハンナ・アーレントの思想と芸術。		
3	佐伯啓思の思想と芸術。		
4	カルロ・ロヴェッリの思想と芸術。		
5	語りかけることと芸術（上）。		
6	語り掛けることと芸術（下）。		
7	ネアンデルタール人とホモサピエンス。		
8	暗黒舞踏という芸術。		
9	楠木建『ストーリーとしての競争戦略』と芸術。		
10	GAFAと5Gとこれからの芸術。		
11	まとめ。		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>1970年横浜生まれ。日本近代美術思想史研究。岡倉覚三、宮川重雄、針生一郎を経て敗戦後日本前衛美術に到達。 ダンス、舞踏、音楽、デザイン、映像、文学、哲学、批評、研究、思想を交錯しながら文化の【現在】を探る。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	版画概論	天野純治	1単位 16.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
この授業では現代版画とは何かを考えることを目標とします。現代版画や現代美術について多くの作品を鑑賞し、様々な作品が持つ魅力やコンセプトを知って行きます。それら作品の変遷、現代美術史に理解を深めることから個々の制作の可能性を拓けることを目標とします。			
【講義概要】			
現代美術作品、現代版画作品の鑑賞。ポップアート以降、現在に至るまでの様々な作品の鑑賞を通してその作品の魅力とコンセプトの研究を行い、現代版表現を考える。自身の作品をより理解し、制作の可能性を拓けることを目的に、個々の作品のプレゼンテーションを行う。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	授業説明(版表現について)作品鑑賞		
2	作品鑑賞		
3	作品鑑賞		
4	作品鑑賞		
5	作品プレゼンテーション		
6	作品鑑賞		
7	作品鑑賞		
8	作品鑑賞		
9	作品鑑賞		
10	作品鑑賞		
11	作品プレゼンテーション		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1949年鳥取県生まれ。多摩美術大学大学院修了。第45回版画展版画協会賞、毎日現代日本美術展東京都現代美術館賞、World Print Competition最高賞。山口源大賞。元多摩美術大学客員教授。日本版画協会会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	版画講座	今井圭介	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>版画の歴史や世界、様々な技法と表現との関わりなどを学んで版画をより深く理解し、制作等に活かすことができる素地を身につける。</p>			
【講義概要】			
<p>日本の伝統木版画の浮世絵はよく知られた版画ですが、日頃使っている紙幣の肖像画が見事な銅版画であるという事はあまり意識されていないでしょう。この講義ではこうした実は身近に存在する版画にも目を向けながら資料や画像、実物を交えて版画について学びます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	版画よもやま話（版画の世界、用語、材料、紙等）		
2	版画の技法（木版画・銅版画）		
3	版画の技法（石版画・スクリーンプリント）		
4	浮世絵版画のはじまり		
5	浮世絵版画の世界と制作システム		
6	日本で初めて腐蝕銅版画を制作した人物は		
7	好奇心を満たせ！横浜絵から開化絵まで		
8	最後の浮世絵師・小林清親とは		
9	日本の近代版画は「版画」ではなく「創作版画」		
10	版画誌『月映』とは		
11	飛躍する現代版画と東京国際版画ビエンナーレ		
12	時代の寵児と呼ばれた版画家・池田満寿夫		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p><u>1959年新潟県生まれ。東京藝術大学卒業。町田市立国際版画美術館学芸員を経て町田市立博物館副館長（2012-2020年）。版画家・吉田穂高、小野忠重、博物画家・小林重三などの展覧会を企画・実施。</u></p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語(美術進学)	蔣 燕萍	4単位 90時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>①日本語能力試験N1対策：N1の試験に合格できる力をつける。</p> <p>②語彙力の向上</p>			
【講義概要】			
<ul style="list-style-type: none"> ・言語知識、読解、聴解の実戦練習。 ・模擬試験。 			
回	授業計画及び学習の内容		
1	模擬試験	19	講義
2	講義	20	講義
3	講義	21	講義
4	講義	22	講義
5	講義	23	講義
6	講義	24	講義
7	講義	25	講義
8	講義	26	講義
9	講義	27	講義
10	講義	28	講義
11	講義	29	講義
12	講義	30	講義
13	講義	31	模擬試験
14	模擬試験	32	講義
15	講義	33	講義
16	講義	33	講義
17	講義	34	講義
18	講義	35	試験
19	講義		
【成績評価方法】			
<p>試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部 (1年制)	2022年度	留学生・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語2(美術進学)	メロス言語学院講師	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
目上に対する日本語表現とカジュアルな日本語表現の向上を目標として挙げます。			
【講義概要】			
前半90分、後半20分=映像教材を見て、語彙の聞き取り+ディスカッション。 後半70分= (1)会話表現+ロールプレイ(15分) (2)1分間スピーチ(15分) (3)Show & Tell(40分)			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	試験		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100~95：A+ 94~80：A 79~70：B 69~60：C) 不合格(59~0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コース絵画造形専攻分野・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	ポートフォリオ講座	東樋口 徹	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>自分を説明する重要なツールであるポートフォリオの制作を通して、自身の制作やコンセプトを深め、ファインアート系のポートフォリオに必要な要素を考えます。また、ポートフォリオ作成に纏わる基本的なスキルや知識を習得し、随時更新するためのフォーマットを完成させます。</p>			
【講義概要】			
<p>ポートフォリオを作成する上で必要な基礎的な知識やスキルを解説します。その上で更新しやすいポートフォリオ（A4サイズ）のフォーマットを作成し、授業終了時点での最新のポートフォリオを作成します。また、作成したポートフォリオを元に個々の作品や制作コンセプトのプレゼンテーションを行うことで、自身のポートフォリオに必要な要素や伝えやすいフォーマットを考えます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ポートフォリオ作成の指導・研究内容の指導		
2	ポートフォリオ作成の指導・研究内容の指導		
3	FA科講評会（東樋口・鈴木・蔭）		
4	ポートフォリオ作成の指導・研究内容の指導		
5	FA科講評会（東樋口・鈴木・蔭）		
6	ポートフォリオ作成の指導・研究内容の指導		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 <u>1975年奈良県生まれ。2006年東京藝術大学美術研究科修了。2005年第3回山本鼎版画大賞展準大賞、2007年Prints Tokyo 2007賞上賞（三極）、2009年The 2nd NBC MESHTEC TOKYO INTERNATIONAL SCREEN PRINT BIENNIAL 優秀賞。2015アワガミ国際ミニプリント展大賞。（社）日本版画協会会員。</u></p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コース絵画造形専攻分野・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	表現演習1	蔣 燕萍	1.5単位 39時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
思考力、研究テーマをより深く掘り下げ、大学院への進学に十分対応可能な能力を身につけることを目指しています。			
【講義概要】			
それぞれのニーズに合わせて個別対応にてサポートします。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、情報発信		
2	課外授業		
3	情報発信・個別面談		
4	情報発信		
5	情報発信・個別面談		
6	情報発信・個別面談		
7	課外授業		
8	情報発信・個別面談		
9	課外授業		
10	情報発信・個別面談		
11	情報発信・個別面談		
12	課外授業		
13	情報発信・個別面談		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コース絵画造形専攻分野・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	表現演習2	蔣 燕萍	1単位 33時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
思考力、研究テーマをより深く掘り下げ、大学院への進学に十分対応可能な能力を身につけることを目標としています。			
【講義概要】			
それぞれのニーズに合わせて個別対応にてサポートします。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、情報発信		
2	課外授業		
3	課外授業		
4	情報発信・個別面談		
5	課外授業		
6	情報発信・個別面談		
7	課外授業		
8	情報発信・個別面談		
9	課外授業		
10	情報発信・個別面談		
11	課外授業		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コース絵画造形専攻分野・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	文章表現1	蔣 燕萍	2単位 57時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
文章の練習・添削を通じて、小論文、研究計画書、志望理由書などの上達を期待します。			
【講義概要】			
研究計画書、小論文、志望理由書などの書く添削授業。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	講義
2	講義	19	発表
3	講義		
4	小論文		
5	小論文		
6	講義		
7	講義		
8	小論文		
9	講義		
10	研究計画書		
11	小論文		
12	講義		
13	講義		
14	講義		
15	研究計画書		
16	小論文		
17	講義		
【成績評価方法】			
試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コース絵画造形専攻分野・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	文章表現2	蔣 燕萍	1単位 36時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
研究計画書、小論文、志望理由書などを書く添削授業。			
【講義概要】			
文章の練習・添削を通じて、小論文、研究計画書、志望理由書などの上達を期待します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、研究計画書		
2	小論文		
3	面接対策		
4	模擬小論文		
5	小論文		
6	面接対策		
7	面接対策		
8	小論文		
9	面接対策		
10	面接対策		
11	面接対策		
12	面接対策		
【成績評価方法】			
試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コース絵画造形専攻分野・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵画造形総合研究ゼミ1	工藤礼二郎	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
これまで研究してきたテーマを基に、研究計画書を完成し、志望校に対応できる作品制作及び受験用ポートフォリオの充実を目指す。			
【講義概要】			
各自の研究テーマに合わせた作品の制作。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	プレゼンテーション、合同講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリーエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コース絵画造形専攻分野・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択実技	素描講座	工藤礼二郎	1単位 30時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
大学院実技入学試験に対応しうる技術力と表現力を身につける。			
【講義概要】			
各大学院実技入学試験に即した静物や、自画像などのデッサンを所定の時間内に制作し、各回ごとに講評を行う。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	静物デッサン・自画像		
2	静物デッサン・自画像		
3	静物デッサン・自画像		
4	静物デッサン・自画像		
5	静物デッサン・自画像		
6	静物デッサン・自画像		
7	静物デッサン・自画像		
8	静物デッサン・自画像		
9	静物デッサン・自画像		
10	静物デッサン・自画像		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1962年生まれ。日本グラフィック展、ザ・チョイス年度賞、クレセントイラストコンペ年間日本のイラストレーション、毎日広告賞、TIAA、カンヌ国際広告祭、アジアパシフィック広告祭、その他で受賞。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コース絵画造形専攻分野・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵画造形総合研究ゼミ2	工藤礼二郎	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
これまで研究してきたテーマを基に、研究計画書を完成し、志望校に対応できる作品制作及び受験用ポートフォリオの充実を目指す。			
【講義概要】			
各自の研究テーマに合わせた作品の制作。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	プレゼンテーション、合同講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリーエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	芸術概論	新川 貴詩	1単位 22.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>本講義では、現代美術を読み解く力を養うことを目的とする。また、日本語読解力の向上も目標とするため、現代美術に関する論文や記事など各種の文献講読を中心に講義を進めていく。</p>			
【講義概要】			
<p>20世紀末から今世紀にかけての現代美術を中心に考察する。個々の美術作品やアーティストたちに関する解説のみならず、国内外の美術動向やシーンの変遷、美術館や美術教育など文化環境、国や自治体の文化政策など多角的な視点で同時代の美術について検証する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	研究計画書とはどんなものかを知る		
2	研究課題を決める		
3	研究課題を決める 発表・コメント・添削		
4	骨組みになる文章を書く 研究目的を書く		
5	骨組みになる文章を書く 研究目的を書く 発表・コメント・添削		
6	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景の内容と構成を考える		
7	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景の内容と構成を考える 発表・コメント・添削		
8	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景を書く		
9	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景を書く 発表・コメント・添削		
10	骨組みになる文章を書く 研究意義を書く		
11	骨組みになる文章を書く 研究意義を書く 発表・コメント・添削		
12	骨組みになる文章に先行研究を引用する		
13	研究方法を書く		
14	研究方法を書く 発表・コメント・添削		
15	研究計画書の発表・コメント・添削		
【成績評価方法】			
<p>試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 1967年生まれ。早稲田大学大学院情報通信専攻修了。美術ジャーナリストとして新聞や雑誌に文章を発表する傍ら、展覧会企画にも関わる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	絵画概論	早見 堯	1単位 16.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
絵画は支持体や絵具などの物質でできている。物質に心はない。その物質が私たちの心を揺れ動かす。なぜ？心のない物質が感情表現できるのはどうしてなのか。絵画を見ながらこうした謎を考える糸口をつかみたい。			
【講義概要】			
日本その他のモダン・アートや現代美術の作品を画像で映しながら、それぞれの作品がどう見えるのかを理解し、作品がどういうふうになり立っているのかを考えます。そして作品からえられる感覚的なテイスト(味わい)を吟味してみましよう。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション；作品を見て「わかる」＝連想する、自分の言葉に置き換えて理解		
2	作品を見て「感動する」；連想が拒絶されて作品のあるがままの姿を受け入れる		
3	絵画の成り立ち方-1；形の出現と消滅		
4	絵画の成り立ち方-2；正面性、平面性、絵画と立体の違い		
5	絵画の成り立ち方-3；色彩表現をめぐる		
6	色と構成の力；色彩による表現力、構図による表現力		
7	絵画の表現性-1；同次元結合と異次元結合		
8	絵画の表現性-2；同次元結合と異次元結合		
9	美術館のコレクションの作品から・展覧会の作品から-1；絵画に問題はあるのか		
10	美術館のコレクションの作品から-2展覧会の作品から-2；何が絵画の問題なのか		
11	サステナビリティとしての絵画；イメージとオブジェ・平面性と平面体その他の絵画のキーワードを、作品を見ながら検討		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 早稲田大学第一文学部卒業。1970年代から現代美術の批評を通して「見る」とはどういう経験なのか、「表す」とは人にとって何なのかを具体的な「作品」に即して考えている。著書は『増補新装カラー版20世紀の美術』（共著）その他。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	絵画講座	宮田 徹也	1単位 16.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>芸術を通じて、人間を知る。己と他者を区別して考え、他者と自己の気持ちを理解し、他者の立場になって自己を考える。人間を知るためには、人文科学、自然科学、科学に定義されていないものも学ぶ必要がある。芸術が、人間を取り巻く事物と事象のどこに位置するのかわを確認しなければならない。それを、制作に繋げる。</p>			
【講義概要】			
<p>様々な文献を読んで、考え、意見を交換する。芸術、社会学、経済学、経営学、物理学、宇宙論、量子力学、脳科学、動物行動学、先史学等である。意思が通じるコミュニケーションは、対面でもオンラインでも可能だ。レポートとは課題ではなく、自主的な筈だ。予習、学習、復習は、一生、続いていく。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション。		
2	ハンナ・アーレントの思想と芸術。		
3	佐伯啓思の思想と芸術。		
4	カルロ・ロヴェッリの思想と芸術。		
5	語りかけることと芸術（上）。		
6	語り掛けることと芸術（下）。		
7	ネアンデルタール人とホモサピエンス。		
8	暗黒舞踏という芸術。		
9	楠木建『ストーリーとしての競争戦略』と芸術。		
10	GAFAと5Gとこれからの芸術。		
11	まとめ。		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>1970年横浜生まれ。日本近代美術思想史研究。岡倉覚三、宮川重雄、針生一郎を経て敗戦後日本前衛美術に到達。 ダンス、舞踏、音楽、デザイン、映像、文学、哲学、批評、研究、思想を交錯しながら文化の【現在】を探る。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語(美術進学)	蔣 燕萍	4単位 90時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>①日本語能力試験N1対策：N1の試験に合格できる力をつける。</p> <p>②語彙力の向上</p>			
【講義概要】			
<ul style="list-style-type: none"> ・言語知識、読解、聴解の実戦練習。 ・模擬試験。 			
回	授業計画及び学習の内容		
1	模擬試験	19	講義
2	講義	20	講義
3	講義	21	講義
4	講義	22	講義
5	講義	23	講義
6	講義	24	講義
7	講義	25	講義
8	講義	26	講義
9	講義	27	講義
10	講義	28	講義
11	講義	29	講義
12	講義	30	講義
13	講義	31	模擬試験
14	模擬試験	32	講義
15	講義	33	講義
16	講義	33	講義
17	講義	34	講義
18	講義	35	試験
19	講義		
【成績評価方法】			
<p>試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部 (1年制)	2022年度	留学生・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語2(美術進学)	メロス言語学院講師	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
目上に対する日本語表現とカジュアルな日本語表現の向上を目標として挙げます。			
【講義概要】			
前半90分、後半20分=映像教材を見て、語彙の聞き取り+ディスカッション。 後半70分= (1)会話表現+ロールプレイ(15分) (2)1分間スピーチ(15分) (3)Show & Tell(40分)			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	試験		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100~95：A+ 94~80：A 79~70：B 69~60：C) 不合格(59~0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コース版画専攻分野・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	ポートフォリオ講座	東樋口 徹	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>自分を説明する重要なツールであるポートフォリオの制作を通して、自身の制作やコンセプトを深め、ファインアート系のポートフォリオに必要な要素を考えます。また、ポートフォリオ作成に纏わる基本的なスキルや知識を習得し、随時更新するためのフォーマットを完成させます。</p>			
【講義概要】			
<p>ポートフォリオを作成する上で必要な基礎的な知識やスキルを解説します。その上で更新しやすいポートフォリオ（A4サイズ）のフォーマットを作成し、授業終了時点での最新のポートフォリオを作成します。また、作成したポートフォリオを元に個々の作品や制作コンセプトのプレゼンテーションを行うことで、自身のポートフォリオに必要な要素や伝えやすいフォーマットを考えます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ポートフォリオ作成の指導・研究内容の指導		
2	ポートフォリオ作成の指導・研究内容の指導		
3	FA科講評会（東樋口・鈴木・蔭）		
4	ポートフォリオ作成の指導・研究内容の指導		
5	FA科講評会（東樋口・鈴木・蔭）		
6	ポートフォリオ作成の指導・研究内容の指導		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 <u>1975年奈良県生まれ。2006年東京藝術大学美術研究科修了。2005年第3回山本鼎版画大賞展準大賞、2007年Prints Tokyo 2007賞上賞（三極）、2009年The 2nd NBC MESHTEC TOKYO INTERNATIONAL SCREEN PRINT BIENNIAL 優秀賞。2015アワガミ国際ミニプリント展大賞。（社）日本版画協会会員。</u></p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コース版画専攻分野・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	表現演習1	蔣 燕萍	1.5単位 39時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
思考力、研究テーマをより深く掘り下げ、大学院への進学に十分対応可能な能力を身につけることを目指しています。			
【講義概要】			
それぞれのニーズに合わせて個別対応にてサポートします。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、情報発信		
2	課外授業		
3	情報発信・個別面談		
4	情報発信		
5	情報発信・個別面談		
6	情報発信・個別面談		
7	課外授業		
8	情報発信・個別面談		
9	課外授業		
10	情報発信・個別面談		
11	情報発信・個別面談		
12	課外授業		
13	情報発信・個別面談		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コース版画専攻分野・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	表現演習2	蔣 燕萍	1単位 33時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
思考力、研究テーマをより深く掘り下げ、大学院への進学に十分対応可能な能力を身につけることを目指しています。			
【講義概要】			
それぞれのニーズに合わせて個別対応にてサポートします。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、情報発信		
2	課外授業		
3	課外授業		
4	情報発信・個別面談		
5	課外授業		
6	情報発信・個別面談		
7	課外授業		
8	情報発信・個別面談		
9	課外授業		
10	情報発信・個別面談		
11	課外授業		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コース版画専攻分野・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	文章表現1	蔣 燕萍	2単位 57時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
文章の練習・添削を通じて、小論文、研究計画書、志望理由書などの上達を期待します。			
【講義概要】			
研究計画書、小論文、志望理由書などの書く添削授業。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	講義
2	講義	19	発表
3	講義		
4	小論文		
5	小論文		
6	講義		
7	講義		
8	小論文		
9	講義		
10	研究計画書		
11	小論文		
12	講義		
13	講義		
14	講義		
15	研究計画書		
16	小論文		
17	講義		
【成績評価方法】			
試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コース版画専攻分野・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	文章表現2	蔣 燕萍	1単位 36時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
研究計画書、小論文、志望理由書などを書く添削授業。			
【講義概要】			
文章の練習・添削を通じて、小論文、研究計画書、志望理由書などの上達を期待します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、研究計画書		
2	小論文		
3	面接対策		
4	模擬小論文		
5	小論文		
6	面接対策		
7	面接対策		
8	小論文		
9	面接対策		
10	面接対策		
11	面接対策		
12	面接対策		
【成績評価方法】			
試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コース版画専攻分野・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	版画総合研究ゼミ1	鈴木吐志哉	～1.6単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
これまで研究してきたテーマを基に、研究計画書を完成し、4点以上の作品(実習参加による作品を含む)制作による受験用ポートフォリオの充実を目指す。			
【講義概要】			
各自の研究テーマに合わせた作品の制作及び指導。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	プレゼンテーション、合同講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）、日本版画協会展（準会員佳作）、飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）、SUJUREMENA JAPANSKA G RAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめき-、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、（社）日本版画協会会員、版画学会会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コース版画専攻分野・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択実技	素描講座	工藤礼二郎	1単位 30時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
大学院実技入学試験に対応しうる技術力と表現力を身につける。			
【講義概要】			
各大学院実技入学試験に即した静物や、自画像などのデッサンを所定の時間内に制作し、各回ごとに講評を行う。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	静物デッサン・自画像		
2	静物デッサン・自画像		
3	静物デッサン・自画像		
4	静物デッサン・自画像		
5	静物デッサン・自画像		
6	静物デッサン・自画像		
7	静物デッサン・自画像		
8	静物デッサン・自画像		
9	静物デッサン・自画像		
10	静物デッサン・自画像		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1962年生まれ。日本グラフィック展、ザ・チョイス年度賞、クレセントイラストコンペ年間日本のイラストレーション、毎日広告賞、TIAA、カンヌ国際広告祭、アジアパシフィック広告祭、その他で受賞。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コース版画専攻分野・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	版画総合研究ゼミ2	鈴木吐志哉	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
これまで研究してきたテーマを基に、研究計画書を完成し、4点以上の作品(実習参加による作品を含む)制作による受験用ポートフォリオの充実を目指す。			
【講義概要】			
各自の研究テーマに合わせた作品の制作及び指導。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	プレゼンテーション、合同講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。日本版画協会展（準会員佳作）。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）、SUVREMENA JAPANSKA G RAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめき-、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、（社）日本版画協会会員。版画学会会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	芸術概論	新川 貴詩	1単位 22.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>本講義では、現代美術を読み解く力を養うことを目的とする。また、日本語読解力の向上も目標とするため、現代美術に関する論文や記事など各種の文献講読を中心に講義を進めていく。</p>			
【講義概要】			
<p>20世紀末から今世紀にかけての現代美術を中心に考察する。個々の美術作品やアーティストたちに関する解説のみならず、国内外の美術動向やシーンの変遷、美術館や美術教育など文化環境、国や自治体の文化政策など多角的な視点で同時代の美術について検証する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	研究計画書とはどんなものかを知る		
2	研究課題を決める		
3	研究課題を決める 発表・コメント・添削		
4	骨組みになる文章を書く 研究目的を書く		
5	骨組みになる文章を書く 研究目的を書く 発表・コメント・添削		
6	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景の内容と構成を考える		
7	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景の内容と構成を考える 発表・コメント・添削		
8	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景を書く		
9	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景を書く 発表・コメント・添削		
10	骨組みになる文章を書く 研究意義を書く		
11	骨組みになる文章を書く 研究意義を書く 発表・コメント・添削		
12	骨組みになる文章に先行研究を引用する		
13	研究方法を書く		
14	研究方法を書く 発表・コメント・添削		
15	研究計画書の発表・コメント・添削		
【成績評価方法】			
<p>試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 1967年生まれ。早稲田大学大学院情報通信専攻修了。美術ジャーナリストとして新聞や雑誌に文章を発表する傍ら、展覧会企画にも関わる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語(美術進学)	蔣 燕萍	4単位 90時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>①日本語能力試験N1対策：N1の試験に合格できる力をつける。</p> <p>②語彙力の向上</p>			
【講義概要】			
<ul style="list-style-type: none"> ・言語知識、読解、聴解の実戦練習。 ・模擬試験。 			
回	授業計画及び学習の内容		
1	模擬試験	19	講義
2	講義	20	講義
3	講義	21	講義
4	講義	22	講義
5	講義	23	講義
6	講義	24	講義
7	講義	25	講義
8	講義	26	講義
9	講義	27	講義
10	講義	28	講義
11	講義	29	講義
12	講義	30	講義
13	講義	31	模擬試験
14	模擬試験	32	講義
15	講義	33	講義
16	講義	33	講義
17	講義	34	講義
18	講義	35	試験
19	講義		
【成績評価方法】			
<p>試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部 (1年制)	2022年度	留学生・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語2(美術進学)	メロス言語学院講師	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
目上に対する日本語表現とカジュアルな日本語表現の向上を目標として挙げます。			
【講義概要】			
前半90分、後半20分=映像教材を見て、語彙の聞き取り+ディスカッション。 後半70分= (1)会話表現+ロールプレイ(15分) (2)1分間スピーチ(15分) (3)Show & Tell(40分)			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	試験		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100~95：A+ 94~80：A 79~70：B 69~60：C) 不合格(59~0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コースデザイン・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	表現演習1	蔣 燕萍	1.5単位 39時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
思考力、研究テーマをより深く掘り下げ、大学院への進学に十分対応可能な能力を身につけることを目標としています。			
【講義概要】			
それぞれのニーズに合わせて個別対応にてサポートします。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、情報発信		
2	課外授業		
3	情報発信・個別面談		
4	情報発信		
5	情報発信・個別面談		
6	情報発信・個別面談		
7	課外授業		
8	情報発信・個別面談		
9	課外授業		
10	情報発信・個別面談		
11	情報発信・個別面談		
12	課外授業		
13	情報発信・個別面談		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コースデザイン・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	表現演習2	蔣 燕萍	1単位 33時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>思考力、研究テーマをより深く掘り下げ、大学院への進学に十分対応可能な能力を身につけることを目標としています。</p>			
【講義概要】			
<p>それぞれのニーズに合わせて個別対応にてサポートします。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、情報発信		
2	課外授業		
3	課外授業		
4	情報発信・個別面談		
5	課外授業		
6	情報発信・個別面談		
7	課外授業		
8	情報発信・個別面談		
9	課外授業		
10	情報発信・個別面談		
11	課外授業		
【成績評価方法】			
<p>試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コースデザイン・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	文章表現1	蔣 燕萍	2単位 57時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
文章の練習・添削を通じて、小論文、研究計画書、志望理由書などの上達を期待します。			
【講義概要】			
研究計画書、小論文、志望理由書などの書く添削授業。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	講義
2	講義	19	発表
3	講義		
4	小論文		
5	小論文		
6	講義		
7	講義		
8	小論文		
9	講義		
10	研究計画書		
11	小論文		
12	講義		
13	講義		
14	講義		
15	研究計画書		
16	小論文		
17	講義		
【成績評価方法】			
試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コースデザイン・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	文章表現2	蔣 燕萍	1単位 36時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
研究計画書、小論文、志望理由書などを書く添削授業。			
【講義概要】			
文章の練習・添削を通じて、小論文、研究計画書、志望理由書などの上達を期待します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、研究計画書		
2	小論文		
3	面接対策		
4	模擬小論文		
5	小論文		
6	面接対策		
7	面接対策		
8	小論文		
9	面接対策		
10	面接対策		
11	面接対策		
12	面接対策		
【成績評価方法】			
試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コースデザイン・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	クリエイティブ概論	上野仁志	1単位 45時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
この講座の対象者はデザイナー希望者です。イラストレーターやアニメーター、動画制作者を希望する学生へはイラストや動画を、デザイナーがどのように選択し構築しているかを理解することで、自らの活躍の場を探ることを目的とします。			
【講義概要】			
デザイナーの役割を得るための講義と、デザインに重要な「発想力」を得るための実習を実施します。講義では、制作物を素に解説します。実習では、自ら課題を設定し、解決策を提示することを体験します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	デザイナーに求められる力		
2	広告業務におけるデザイナーの役割		
3	デザイナーとポスター		
4	デザイナーとパッケージ		
5	デザイナーと撮影		
6	デザイナーと映像		
7	デザイナーとWEB		
8	発想力演習1-1		
9	発想力演習1-2		
10	発想力演習1-3		
11	発想力演習1-4		
12	発想力演習2-1		
13	発想力演習2-2		
14	発想力演習2-3		
15	発想力演習2-4		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1960生まれ。1980年立教大学経済学部経営学科中退。1984年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。1986年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。株式会社博報堂入社。デザイナー、アートディレクター、を経てマネジメントディレクターとしてクリエイターの人材発掘と育成を担う。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コースデザイン・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	ポートフォリオ講座	上野 仁志	1単位 12時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
初日に「ポートフォリオを作ろう」講義を行います。個々対応にて、ポートフォリオ作成をアドバイスします。最終日に、作成したポートフォリオの説明（プレゼンテーション）を実施。			
【講義概要】			
ポートフォリオは、記録集ではない。「何ができるか」「何をしたいのか」を伝えるもの。ポートフォリオの制作を通じて、自己作品の効果的な提示方法を修得する。また、「作品を見返すこと」、「他者のポートフォリオを見ること」、「自らの言葉で作品を説明すること」を通じ、自己作品を俯瞰で捉え、作品制作のあり方を探る。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ポートフォリオに関する説明会、制作する上での注意点など。学生のポートフォリオのチェック。		
2	グループ指導		
3	グループ指導		
4	グループ指導		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 1960生まれ。1980年立教大学経済学部経営学科中退。1984年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。1986年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。株式会社博報堂入社。デザイナー、アートディレクター、を経てマネジメン トディレクターとしてクリエイターの人材発掘と育成を担う。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コースデザイン・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	特別授業	林 規章、澤田泰廣	0.5 単位 12時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>グラフィックデザインについて自身の研究目標を明確に提示する事は大切です。その目標に向かい研究の深度を見つめ、グラフィックデザインの有効性を考えます。</p> <p>学生各自のコミュニケーションデザインの可能性とクオリティの目標値を高める。</p>			
【講義概要】			
<p>参考作品の事例等を解説します。グラフィックデザインについて自身の研究目標を明確にするための意見交換をします。自身が研究するテーマの有効性を考えます。</p> <p>多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程（修士課程）デザイン専攻グラフィックデザイン研究領域について。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	作品ファイルのチェック、及びアドバイス。		
3	オリエンテーション、講義		
4	作品指導		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>林 規章：1964年生まれ。グラフィックデザイナー、女子美術大学教授。広告、音楽、出版、TVなどのアートディレクション・グラフィックデザインに従事。主な仕事に「ブルーノ・ムナーリの本たち」「NHK デザインあみるほん」「MTV JAPAN」などがある。</p> <p>澤田 泰廣：1985年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。サントリー（株）宣伝制作室を経て、1989年澤田泰廣デザイン室設立、現在に至る。多摩美術大学美術学部グラフィックデザイン学科教授。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コースデザイン・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択実技	イラストレーション研究	都築 潤	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
イラストレーションについての考察。イラスト作成に必要な基本的な予備演習を行います。			
【講義概要】			
イラストレーティング、既存のメディアへのイラストの実装 1:メディアやテーマの要求に応えるためのイラスト制作 2:イラストレーション、ビジュアルデザインについての考察。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	課題1 ガイダンス/出題		
2	連動案考案		
3	表紙・見開き制作+チェック		
4	表紙・見開き制作		
5	講評会		
6	課題2 出題		
7	チェック		
8	発表		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1962年生まれ。日本グラフィック展、ザ・チョイス年度賞、クレセントイラストコンペ、年間日本のイラストレーション、毎日広告賞、TIAA、カンヌ国際広告祭、アジアパシフィック広告祭、その他で受賞。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コース ・IL/GD・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デザイン総合研究ゼミ1	関根 慎一	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
各自の研究テーマに合わせた作品の制作。			
【講義概要】			
1.これまで研究してきたテーマを基に、研究計画書を完成し、40点以上の作品制作による受験用ポートフォリオの充実を目指す。 2.研究計画書を完成すること 3.受験用ポートフォリオを完成すること			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	プレゼンテーション、合同講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1961年、神奈川県生まれ。1987年、東京芸術大学大学院視覚デザイン専攻修了。株式会社LD デザイン事務所を経て、1997年、関根慎一デザイン室設立。企業・商品・イベント・展覧会などの広告、CI、ブックデザイン、カレンダー、ミュージアムグッズなどの制作。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コース ・IL/GD・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デザイン総合研究ゼミ2	関根 慎一	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
各自の研究テーマに合わせた作品の制作。			
【講義概要】			
1.これまで研究してきたテーマを基に、研究計画書を完成し、40点以上の作品制作による受験用ポートフォリオの充実を目指す。 2.研究計画書を完成すること 3.受験用ポートフォリオを完成すること			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	プレゼンテーション、合同講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1961年、神奈川県生まれ。1987年、東京芸術大学大学院視覚デザイン専攻修了。株式会社LD デザイン事務所を経て、1997年、関根慎一デザイン室設立。企業・商品・イベント・展覧会などの広告、CI、ブックデザイン、カレンダー、ミュージアムグッズなどの制作。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2022年度	美術進学コース ・A & C・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	アニメーション&コミック総合研究ゼミ1	白石慶子、関根慎一	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
大学院進学に向けて、試験で必要となるクオリティの高い作品制作を目指す。			
【講義概要】			
映像、漫画、デジタルイラストなど学生が希望する内容に合わせて個別に指導する。また試験で必要となるポートフォリオ、小論文、志望動機などの指導もする。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	プレゼンテーション、合同講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 白石 慶子：東京藝術大学大学院アニメーション専攻修了。(株)サンライズCGアニメーター勤務後、独立。劇場・TVアニメ『地縛少年花子くん』『ダンガンロンパ3』『暗殺教室』『デジモンアドベンチャーtri.』OP・ED監督。NHKみんなのうた『日々』監督。 関根 慎一：1961年、神奈川県生まれ。1987年、東京芸術大学大学院視覚デザイン専攻修了。株式会社LDデザイン事務所を経て、1997年、関根慎一デザイン室設立。企業・商品・イベント・展覧会などの広告、CI、ブックデザイン、カレンダー、ミュージアムグッズなどの制作。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 屋間部（1年制）	2022年度	美術進学コース ・A&C・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	アニメーション&コミック総合研究ゼミ2	白石慶子、関根慎一	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
大学院進学に向けて、試験で必要となるクオリティの高い作品制作を目指す。			
【講義概要】			
映像、漫画、デジタルイラストなど学生が希望する内容に合わせて個別に指導する。また試験で必要となるポートフォリオ、小論文、志望動機などの指導もする。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	プレゼンテーション、合同講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 白石 慶子：東京藝術大学大学院アニメーション専攻修了。(株)サンライズCGアニメーター勤務後、独立。劇場・TVアニメ『地縛少年花子くん』『ダンガンロンパ3』『暗殺教室』『デジモンアドベンチャーtri.』OP・ED監督。NHKみんなのうた『日々』監督。 関根 慎一：1961年、神奈川県生まれ。1987年、東京芸術大学大学院視覚デザイン専攻修了。株式会社LDデザイン事務所を経て、1997年、関根慎一デザイン室設立。企業・商品・イベント・展覧会などの広告、CI、ブックデザイン、カレンダー、ミュージアムグッズなどの制作。			